

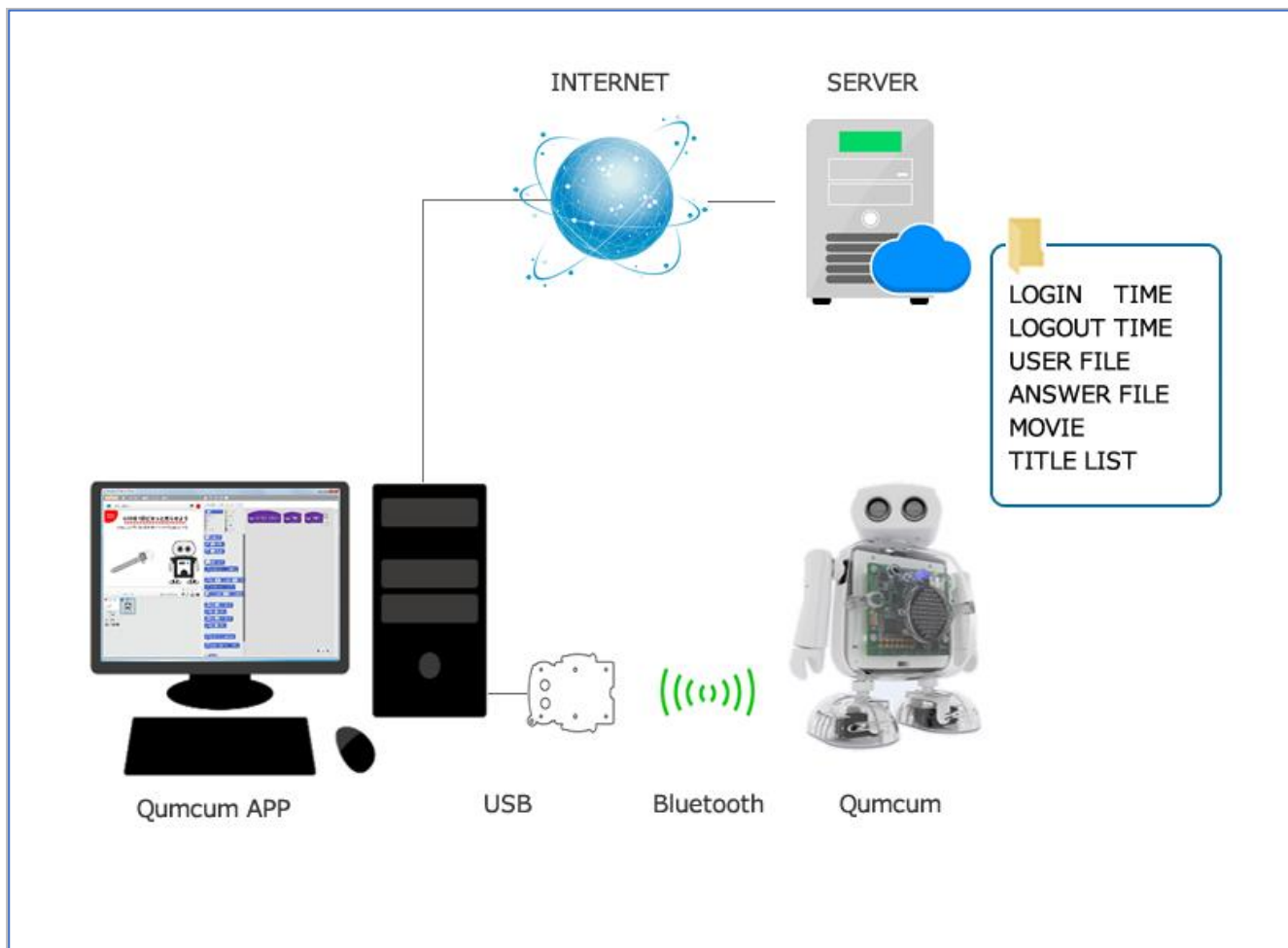


学習システム操作マニュアル

CRETARIA.

1. システムの構成

1. システムの全体構成図



QumcumAPP & SERVER

スクラッチを利用したクムクム専用学習用ソフトです。

インターネット経由で、受講生のログイン・ログアウトや、ユーザファイルなどすべてのデータの授受を行います。

USB & Bluetooth & Qumcum

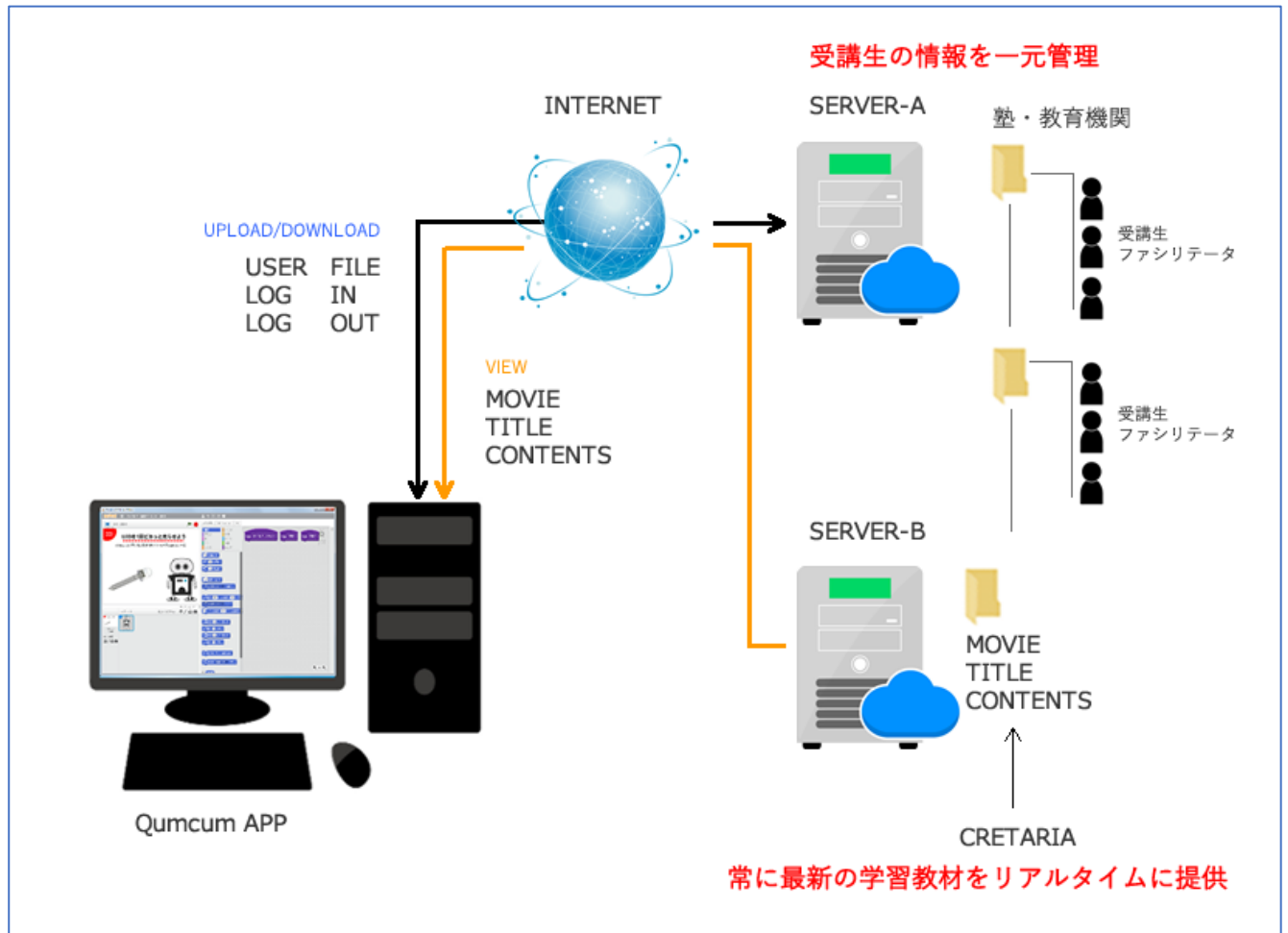
USB ケーブルで PC に接続した通信機を通して Bluetooth 通信により Qumcum にコマンドを送信し動作させます。通信機と Qumcum 本体は 1 : 1 の関係で特定した個別接続を行うため、組み合わせをバラバラにしないように管理してください。

2. クラウド一元管理により常に最新の状態を提供

学習用 PC はインターネットを通じて常に弊社サーバに接続しています。

サーバはクラウド機能により、塾・教育機関ごと、生徒ごとのファイルを一元管理します。

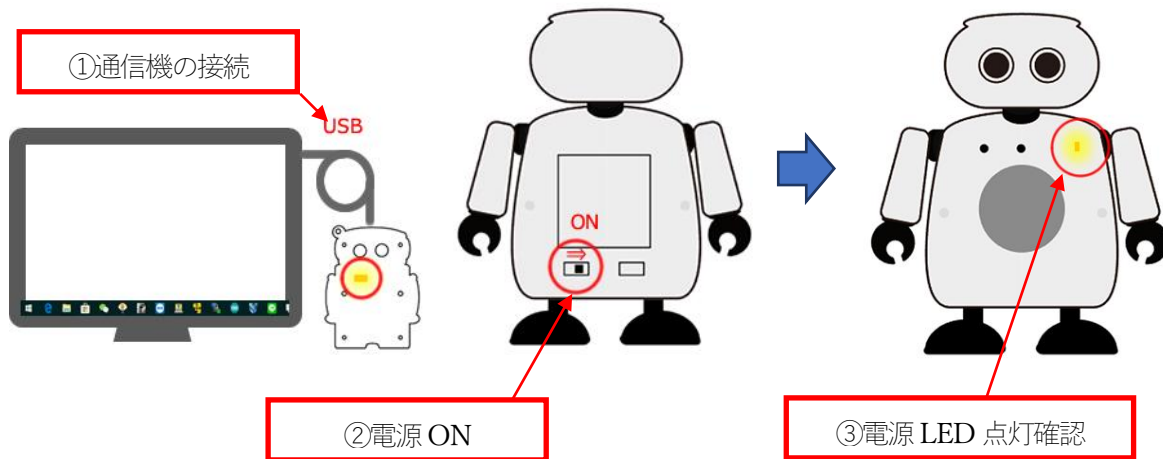
また、常に最新の学習教材をリアルタイムに利用することができます。



2. 学習開始までの方法

1. ハードウェアの準備

受講生側では、パソコンと通信機を USB ケーブルで接続したらクムクムの背中のスイッチを ON にします。



※注意

通信機内には接続できるクムクムの情報が埋め込まれているため、クムクム本体は1:1で対応しています。そのため、通信機とクムクムの本体がバラバラになると接続できなくなります。必ず、納品されたときの組み合わせでお使いください。

2. アプリの起動

次に、パソコンのデスクトップにある Qumcum(クラウド版)をダブルクリックしアプリを起動します。



3. システムに LOG IN

アプリが起動すると、まずログイン画面が表示されます。

ログイン画面で、USER ID と PASS CODE を入力し LOG IN ボタンをクリックすると、入力された内容でサーバに問い合わせを行います。

塾・教育機関を特定するコードは LOG IN 時に自動で付加されますので、本画面では学習対象者の ID PASSCODE のみの入力です。

ログイン - Qumcum(Home) - Ver.3.0.1.3

USER ID

PASS CODE

LOG IN EXIT

Ser No. 001EC04FB38F
WWW.QUMCUM.COM

ファシリテータの場合は弊社からお渡ししたファシリテータ ID とパスワード
受講生の場合は、貴塾が教務システムで発行した ID とパスワードを入力します。

該当する受講生の情報が表示されます。

かぐにん画面 - Qumcum - Ver.3.0.2.3

USER ID 00001

YOUR NAME てすとくん

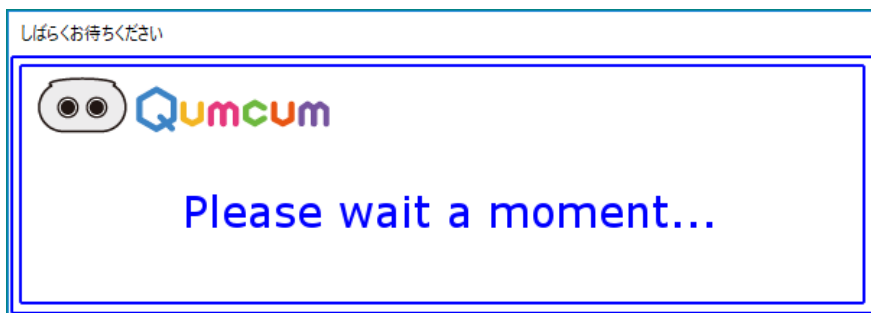
SCHOOL テスト塾

GRADE 2008/09/29

YES NO

WWW.QUMCUM.COM

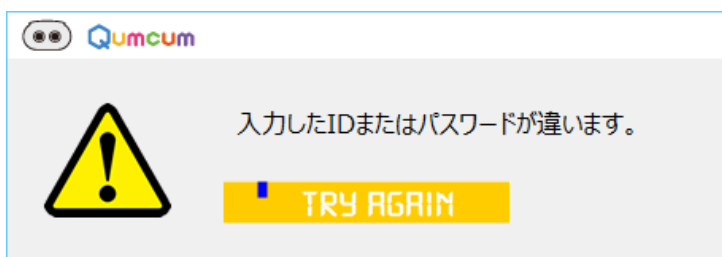
YES ボタンをクリックするとサーバから該当する受講生の学習中のデータファイルを読み込み、同時に LOG IN 時間を記録します。



全てのデータの使用準備が整うと下記のメインタイトル画面が表示され学習開始です。



※LOGIN 画面であやまったユーザIDやPASSCODEを入力すると下記の画面が表示されるので TRY AGAIN をクリックし、ID・パスワードを入力し直します。



3. 学習の進め方

学習はすべてメインタイトル画面のタイトルクリックで始めます。

クリックし学習できるタイトルは、ファシリテータが確認することでステップアップを行います。

1. 画面の説明





1. 情報表示部

現在受講中の受講生の情報を表示します。

COURSE	受講中のコース
NAME	受講生の名前
ID	ID 番号
GROWTH	タイトルのマスター度合いの進捗を目安 タイトル数に対する PASS の割合ですが、タイトルが増えたりすることで%の数字は変わることがありますので、目安としてご確認ください。
LAST LOGIN	前回ログインした日時
TOTAL TIME	はじめてログインした日時から前回までの合計学習時間
TODAY	本日のログイン開始時間と現在時刻

2.操作部

	学習を終了するときをクリック 受講者が作成したファイルすべてとログアウト時間をサーバに送信し学習を終了します。
	ロボット調整画面の表示 組立完了時やロボットの調整がおかしい時に調整を行う画面を開きます。 操作方法は「調整マニュアル」をご覧ください。

3.学習タイトル部

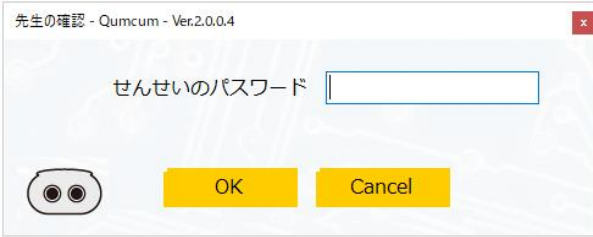


The screenshot shows a list of learning titles with various annotations:

- 学習レベル選択**: Points to the star icons (★, ★★, ★★★) at the top of the list.
- ※自分で作るプログラム**: Points to the 'Me!' button at the top right of the list.
- 学習進捗アイコン**: Points to the progress icons (robot and 'PASS') for the first item.
- 学習タイトル**: Points to the text of the first item: '000 練習しよう 練習'.
- スクラッチ起動ボタン**: Points to the robot icon at the bottom right of the list.

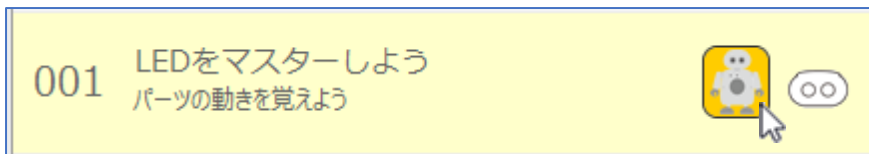
The list items are:

- 000 練習しよう 練習 (Progress: PASS)
- 001 LEDをマスターしよう パーツの動きを覚えよう
- 002 BEEP音をマスターしよう パーツの動きを覚えよう
- 003 音声合成LSIをマスターしよう パーツの動きを覚えよう
- 004 顔・うで・足をマスターしよう パーツの動きを覚えよう
- 005 救急隊員クムクム 面白い動きを作ろう

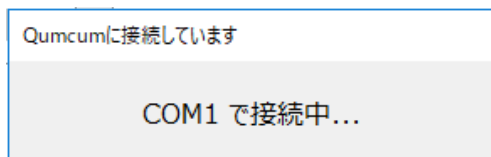
<p>学習レベル選択</p>	<p>学習レベル (★～★★★★) の選択を行うタブ 各タブをクリックすることで、各レベルに用意されている学習タイトルを参照することができます。 学習は★001～★★★★最終番号 まで順に学習を進めます。 タイトルをクリアし次のタイトルを学習するためには、ファシリテータの確認が必要です。</p>
<p>自分で作るプログラム</p>	<p>自分で新しいプログラムを作るタブ ホームページ上の個人版ソフトをダウンロードした場合にのみ使用できます。 塾・学習機関向けシステムではこの機能は利用できません。 また、塾・学習向けシステムが導入されているパソコンで個人版をインストールしても利用することはできません。</p>
<p>学習タイトル</p>	<p>学習用テキストと連動した学習タイトル 常に最新版の学習タイトルをサーバから読み込み表示します。 まだ学習できないタイトルは薄い色の文字で表示されます。</p>
	<p>学習用ソフトクラッチの起動 タイトルに対応したクラッチファイルを読み込みクラッチを起動します。 受講生が学習中の状態をすべてロードすることができます。</p>
	<p>学習進捗アイコン 学習タイトルをマスターしたかどうかを表示します。 このアイコンをダブルクリックしファシリテータがパスワードを入力することでマスター状態にすることができます。</p>  <p>先生のパスワード：“教務システムのログイン ID”</p>

2. タイトルクリックからスクラッチの起動まで

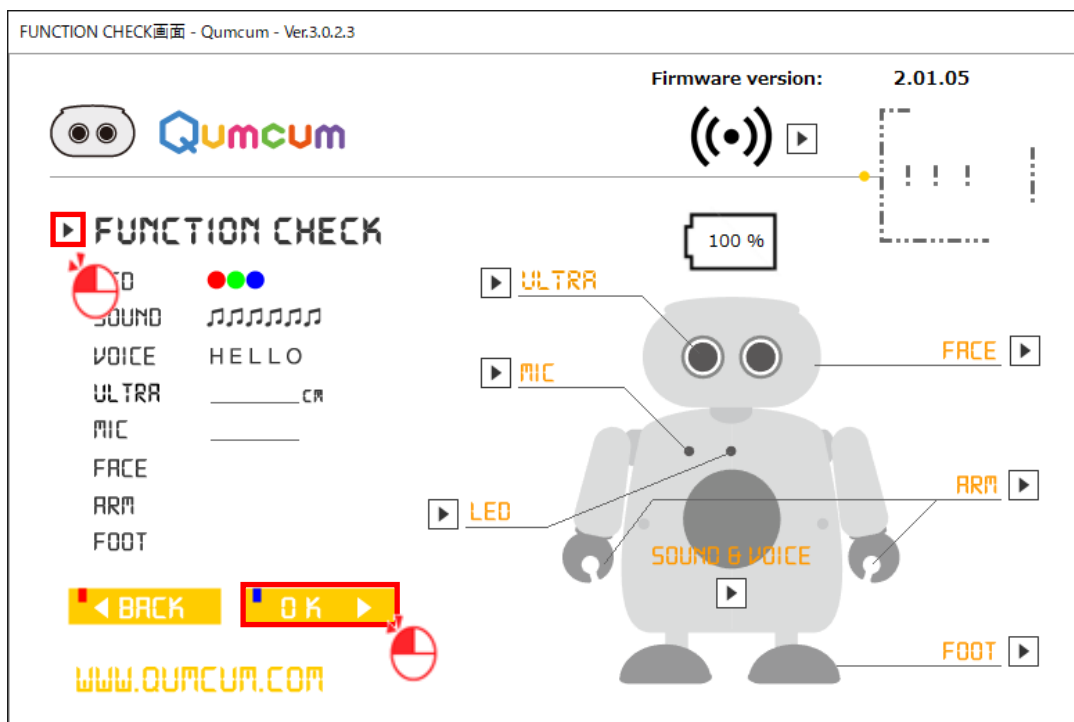
学習するタイトルをダブルクリックするか、スクラッチ起動ボタンをクリックします。



クリック後 PC はロボット接続を開始します。



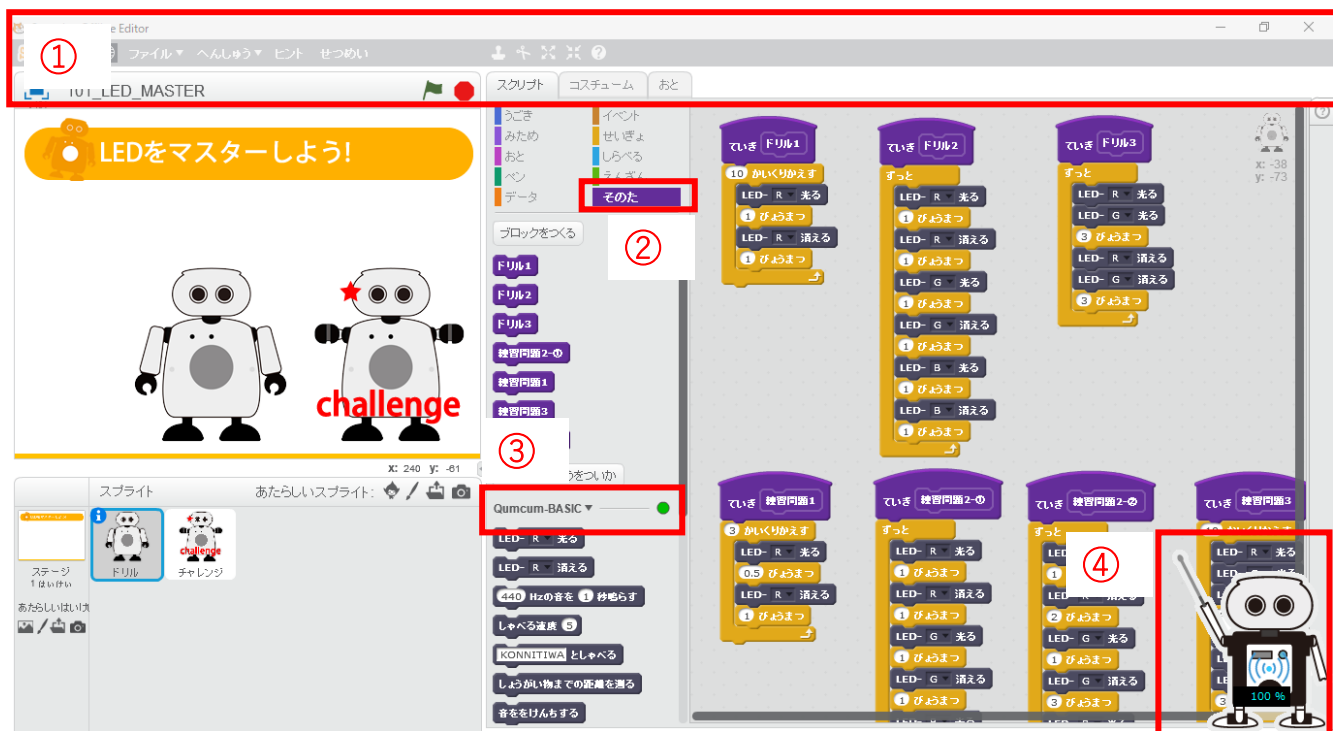
接続が成功するとロボットテスト画面が表示されます。



FUNCTION CHECK 横の▶ボタンをクリックしロボットの全機能が正しく動作するかをチェックします。動きがおかしいと思ったら、右側ロボットの各パーツの▶をクリックし個別に動作確認を行います。チェックが終わったら、OK ボタンをクリックしてスクラッチを起動します。

4. プログラミング

スクラッチが起動したら、テキストや解答動画をみながらプログラミング学習を行います。
プログラミングの進め方はテキストに記述していますので、そちらをご覧ください。



Qumcum 学習システムでは、誤動作でデータをこわしたりしないように、最上段のメニューなどは選択できないようにロックされています(赤枠①)。

全ての操作は、右下のクムクムアイコンを右クリックしメニューダイアログから行います。
スクリプトタブの「その他」を選択すると Qumcum のコマンドブロックが表示されます(赤枠②)。

コマンドブロックの最上段、QumcumBasic と書かれた右側の●表示が緑色の場合、ロボットと正常に通信できています。赤い場合は通信が切れています(赤枠③)。

その場合、右下のクムクムをクリックしメニューから再接続を行います(赤枠④)。

クムクムメニュー

以下の操作を行う場合に右下のクムクムをクリックしてメニューを表示します。

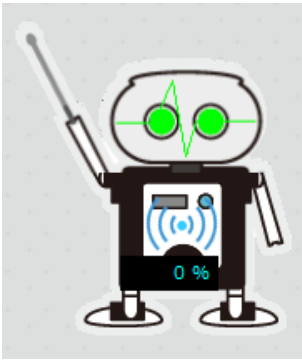
またこのクムクムは通信中に目が緑色に光ります。

通信状態が突然切れた場合など通信ができなくなった場合、目が緑色になりフリーズして知らせてくれます。

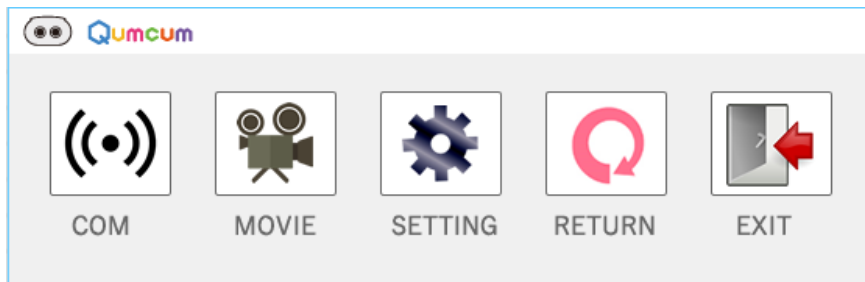
この場合、クムクムをクリックして再接続のボタンをクリックします。

どうしても再接続できない場合はロボットのスイッチをいったん OFF にしもう一度「せつてい」をクリックし再接続します。

通信中の表示



クムクムをクリックした時のメニュー



COM

ロボットの再接続を試みます。

MOVIE

解答動画をみることができます。

SETTEING

ロボットテスト画面を表示します。

RETURN

メニューを閉じてプログラミング画面に戻ります。

EXIT

現在作成中のプログラムを自動で保存してメインタイトル画面に戻ります
クリックをして自動保存している間はマウスやキーボードに手を触れないでください。